

岡山、広島大医学生と自治医科大生

地域医療現状学ぶ

県内病院 合同セミナー始まる

地域医療を担う人材「in玉島」が22日、2 換などを通じて、地域育成を狙い、県が岡山 日間の日程で県内の病 医療の現状や問題点を大、広島大の医学部に 院などで始まった。3 学ぶ。

設けている「地域枠」 大学から計44人が参 初日は2班に分かれ、国立病院機構岡山医療センター（岡山市北区田益）と矢掛町国民健康保険病院（矢掛町矢掛）で施設見学や一次救命処置を学んだ。

同病院では、学生たちが関係者からの説明を聞きながら診察室や応急処置室を見て回った。名部誠・病院事業管理者は「独居高齢者が多く、退院後の生活も考えて治療に当たっている」と説明した。山野通彦町長との意見交換もあり、岡山大3年今村竜太さん（20）は「実習に訪れ、患者の声を聞いてみたい」と話した。

合同セミナーは県地 目。23日は玉島医師会 話を聞き、ワークシ ョ 域医療支援センターが 館（倉敷市玉島阿賀崎） ツプに取り組む。（寺尾彰啓）

毎年開いており4回で伊東香織市長らの講



病院内を見学する学生ら＝矢掛町国民健康保険病院